

2021年度 事業実績

独立行政法人 国際協力機構
北海道センター



【目次】

- ・事業実績概要 1ページ
- ・研修事業実績 2～9ページ
- ・移住者・日系人支援（日系研修事業）／青年研修事業 10ページ
- ・草の根技術協力事業 11ページ
- ・開発教育支援事業 12～14ページ
- ・セミナー・イベント等 15～18ページ
- ・ボランティア事業 19ページ

2021年度 JICA北海道 事業実績概要

● 研修事業※

※草の根技術協力案件を除く。国別枠及び有償枠による課題別又は国別研修への参加者は「国別」として整理。国別（ ）は有償枠に該当するもので内数。長期（ ）は前年度からの継続人数で内数。

		課題別	国別	長期	日系	青年	合計
コース数	札幌	38	15	12	5	3	73
	帯広	36	25	13	0	4	78
小計		74	40	25	5	7	151

		課題別	国別	長期	日系	青年	合計
参加人数	札幌	280	37 (3)	55 (42)	13	21	406
	帯広	226	107 (2)	19 (10)	0	48	400
小計		506	144 (5)	74 (52)	13	69	806

● 草の根技術協力

		パートナー型	地域提案型	支援型	合計
プロジェクト数	札幌	1	1	4	6
	帯広	3	2	2	7
小計		4	3	6	13
専門家派遣人数	札幌	3	0	1	4
	帯広	1	0	0	1
小計		4	0	1	5
研修員受入人数	札幌	0	0	0	0
	帯広	0	0	0	0
小計		0	0	0	0

※地域提案型＝地域（経済）活性化特別枠を含む

● 開発教育支援事業

		出前講座	センター訪問	小・中高生国際協力プログラム	開発教育指導者研修	教師国内研修※	エッセイコンテスト	研修員学校訪問(代替)
参加校等	札幌	75	107	0	0	5	24	5
	帯広	36	40	0			2	0
小計		111	147	0	0	5	26	5
参加者数	札幌	7,167	1,697	40	138	6	1,125	314
	帯広	1,802	1,657	15			135	0
小計		8,969	1,659	55	138	6	1,260	314

※教師海外研修は新型コロナウイルス感染症の影響により、教師国内研修として実施。

● ボランティア事業

※開発教育指導者件数はオンラインの指導者養成セミナーとして4回開催、教育長・教育委員会の連携にて2回開催。

形態	派遣国	派遣人数
青年海外協力隊	6	8
シニア海外ボランティア	2	2
日系青年ボランティア	0	0
日系シニア海外ボランティア	0	0
合計	8	10

※新型コロナウイルス感染症の影響により、新規の派遣は限定的となった。

研修事業実績

※長期研修を除く研修実績は全て遠隔研修実施分のみ記載

● 社会基盤整備

開発途上国では都市開発、道路、上下水道等の社会基盤の整備が遅れているために、国の経済発展だけでなく、これらの施設、そして社会基盤のシステムが持続的に機能するために必要な人づくり、制度づくりも支援しています。JICA北海道では、国土交通省北海道開発局、北海道、札幌市等の地方自治体や大学等のノウハウを活用して、途上国の多くのニーズに対応した研修を行っています。また、寒冷地に位置する北海道の特徴を生かした研修なども行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	遠隔研修期間
<札幌>						
1	上下水道施設技術総合：水道実務者向け実践編（B） ※2020年度案件	課題別	7	スーダン、エチオピア、エジプト、モロッコ、ケニア	札幌市水道局、北海道国際交流・協力総合センター	21.8.13-21.9.17
2	上下水道施設技術総合：水道実務者向け実践編（B）	課題別	8	ブータン、ネパール、スリランカ、カンボジア、ペルー	札幌市水道局、北海道国際交流・協力総合センター	22.1.11-22.3.1
3	道路維持管理（A）	課題別	7	アルメニア、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウクライナ	国土交通省北海道開発局、北海道開発技術センター	21.11.30-22.1.31
4	道路維持管理（B）	課題別	4	モンゴル、メキシコ、カンボジア	札幌市建設局、北海道開発技術センター	21.11.4-21.12.23
5	道路維持管理（E）	課題別	15	ベナン、ブルキナファソ、カメルーン、コートジボワール、ギニア、マダガスカル、セネガル、コンゴ民主共和国	北海道庁建設部、北海道国際交流・協力総合センター	21.11.1-21.12.10

● 環境

開発途上国では、人々が貧困のために自然環境を破壊し、そのことがますます貧困を深刻化していくという環境劣化と貧困の悪循環が起きています。また、人間の活動全般から発生する環境への負荷（悪影響）を減らし、持続可能な消費と生産が可能となる社会の仕組みづくりを行うことが重要な課題となっています。JICAは開発途上国の自然環境保全に取り組むとともに、水質汚濁対策、廃棄物処理等の分野で支援を行っています。JICA北海道では、道内の森林管理のノウハウや地方自治体の都市環境対策の経験を活かした研修を積極的に行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	遠隔研修期間
<札幌>						
1	森林リモートセンシング ※2020年度案件	課題別	7	マレーシア、ケニア、ウガンダ	酪農学園大学	21.9.1-21.10.28
2	森林リモートセンシング ※2020年度案件	国別 (上乘せ)	5	ソロモン、ボツワナ、カンボジア	酪農学園大学	21.9.1-21.10.28
3	鉱物資源の持続的な開発のための能力強化研修	課題別	3	フィリピン、モンゴル	石炭フロンティア機構	21.10.4-21.12.17
4	固形廃棄物管理の基礎（A） ※2020年度案件	課題別 (補完研修)	6	ホンジュラス、ニカラグア、ペルー	日本環境衛生センター	21.11.4-21.11.25
5	固形廃棄物管理の基礎（A）	課題別	8	エルサルバドル、ニカラグア、パナマ、エクアドル、ペルー	日本環境衛生センター	22.1.7-22.2.5
6	森林等自然資源の持続可能な利用とバリューチェーン強化 ※2020年度案件	課題別	3	東ティモール、マラウイ、カメルーン	酪農学園大学	22.1.17-22.2.18
7	森林等自然資源の持続可能な利用とバリューチェーン強化 ※2020年度案件	国別 (上乘せ)	2	ボツワナ	酪農学園大学	22.1.17-22.2.18
<帯広>						
1	自然環境行政官向けのエコツアーリズム	課題別	5	パラオ、ベトナム、モンゴル	釧路国際ウェットランドセンター	21.8.17-21.8.31
2	自然環境行政官向けのエコツアーリズム ※2020年度案件	課題別	2	ジョージア、ホンジュラス	釧路国際ウェットランドセンター	21.8.17-21.8.31
3	地域住民の参加による持続的な森林管理	課題別	6	マラウイ、パキスタン、バブアニューギニア、ソロモン、ウガンダ	アジア航測株式会社	21.11.29-22.1.31

3	地域住民の参加による持続的な森林管理 ※2020年度案件	課題別	3	カメルーン、コンゴ民主共和国、ウガンダ	アジア航測株式会社	21.11.29-22.1.31
4	生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）による、湿地と周辺地域の生態系保全、流域管理と地域開発	課題別	12	コロンビア、コスタリカ、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ、ペルー	釧路国際ウェットランドセンター	22.2.8-22.2.18
5	生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）による、湿地と周辺地域の生態系保全、流域管理と地域開発 ※2020年度案件	課題別	4	ベリーズ、コスタリカ、パナマ、ペルー	釧路国際ウェットランドセンター	22.2.8-22.2.18
6	気候変動に対する順応的流域管理「災害リスク削減と生態系保全」	課題別	6	バングラデシュ、コロンビア、フィジー、インド、イラン、ネパール	アークコーポレーション株式会社	21.11.1-21.11.29
7	気候変動に対する順応的流域管理「災害リスク削減と生態系保全」 ※2020年度案件	課題別	3	アルバニア、ガイアナ、ラオス	アークコーポレーション株式会社	21.11.1-21.11.29
8	保護地域協働管理を通じた生態系保全	課題別 (補完研修)	10	メキシコ、パラグアイ、アルゼンチン、コスタリカ、ホンジュラス、ペルー	一般財団法人自然環境研究センター	22.1.19-22.1.27

● 保健医療

基本的な保健医療サービスが提供されれば簡単に予防・治療できる程度の病気やお産などで、今も開発途上国を中心に多くの尊い命が失われています。JICAは「感染症対策」「母子保健」「保健システム」などの分野において、開発途上国の保健・医療の充実に取り組んでいます。JICA北海道では、道内の僻地における公衆衛生の改善の経験等を活かして、母子保健や保健行政人材の育成等を行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	遠隔研修期間
<札幌>						
1	アフリカ地域 地域保健担当官のための保健行政	課題別	6	モロッコ、チュニジア、エチオピア、リベリア、コートジボワール	旭川医科大学	22.1.17-22.2.10
<帯広>						
1	母子栄養改善 ※2020年度案件	課題別	7	カンボジア、ガーナ、インドネシア、ナイジェリア、シエラレオネ、タジキスタン	公益財団法人ジョイセフ	21.11.30-21.12.9
2	母子栄養改善	課題別	11	アフガニスタン、アンゴラ、ガーナ、グアテマラ、モザンビーク、ナイジェリア、ルワンダ、シエラレオネ、ザンビア	公益財団法人ジョイセフ	21.6.7-21.7.30 21.11.30-21.12.9
3	母子栄養改善	国別 (上乘せ)	3	ナイジェリア、ルワンダ	公益財団法人ジョイセフ	21.6.7-21.7.30 21.11.30-21.12.9

● 地域振興・地域開発行政

急激に都市化が進む都市部と、開発から遅れた地方部の経済格差が開発途上国では拡大しています。こうした格差を是正するとともに、それぞれ固有の問題を解決するためにJICA北海道では、北海道で培われた地域総合開発の経験や地域リソースを活用した地域振興を目的として、開発途上国の行政官等を対象に、課題解決に向けた人材育成を支援しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	遠隔研修期間
<札幌>						
1	地域開発計画管理 ※2020年度案件	課題別 (補完研修)	8	ベトナム、シエラレオネ、北マケドニア共和国、タジキスタン、ウクライナ	国土交通省北海道開発局、日本国際協力センター	21.7.19-21.8.5
2	地域開発計画管理	課題別	3	ホンジュラス、北マケドニア共和国、ジョージア	国土交通省北海道開発局、日本国際協力センター	21.11.15-21.12.14
3	参加型地域開発のための地方行政強化（A） ※2020年度案件	課題別	8	ドミニカ共和国、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ、コロンビア	はまなす財団	21.9.2-21.10.12
4	参加型地域開発のための地方行政強化（A） ※2020年度案件	国別 (上乘せ)	1	エルサルバドル	はまなす財団	21.9.2-21.10.12
5	参加型地域開発のための地方行政強化（A） ※2020年度案件	国別 (有償上乘せ)	1	ブラジル	はまなす財団	21.9.2-21.10.12
6	参加型地域開発のための地方行政強化（A）	課題別	7	ドミニカ共和国、グアテマラ、ホンジュラス、パナマ、コロンビア	はまなす財団	21.11.2-21.12.10
7	参加型地域開発のための地方行政強化（A）	国別 (上乘せ)	4	ドミニカ共和国、グアテマラ	はまなす財団	21.11.2-21.12.10

8	参加型地域開発のための地方行政強化 (A)	国別 (有償上乗せ)	2	ブラジル	はまなす財団	21.11.2-21.12.10
9	参加型地域開発のための地方行政強化 (B) ※2020年度案件	課題別 (補完研修)	3	コートジボワール、シエラレオネ、コンゴ	北海道国際交流センター	22.1.17-22.1.20
10	参加型地域開発のための地方行政強化 (B)	課題別	4	ネパール、マーシャル、バヌアツ	北海道国際交流センター	22.2.14-22.3.10
11	参加型地域開発のための地方行政強化 (C)	課題別	8	ガーナ、コートジボワール、マダガスカル、シエラレオネ、モルドバ、ウクライナ	北海道国際交流センター	21.10.4-21.10.26
12	参加型地域開発のための地方行政強化 (C)	国別 (上乗せ)	3	パレスチナ、イエメン	北海道国際交流センター	21.10.4-21.10.26
13	中米統合機構加盟国向け 道の駅による道路沿線地域開発	課題別	11	ドミニカ共和国、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア	国土交通省北海道開発局、北海道開発技術センター	21.9.3-21.10.7
14	中米統合機構加盟国向け 道の駅による道路沿線地域開発	国別 (上乗せ)	1	グアテマラ	国土交通省北海道開発局、北海道開発技術センター	21.9.3-21.10.7
<帯広>						
1	公共事業における市民参加、合意形成及び住民移転 ※2020年度案件	課題別	6	バングラデシュ、カンボジア、ウガンダ	一般社団法人北海道開発技術センター	21.8.23-21.9.6
2	公共事業における市民参加、合意形成及び住民移転 ※2020年度案件	国別 (上乗せ)	3	インドネシア	一般社団法人北海道開発技術センター	21.8.23-21.9.6

● 農林水産業等

農林水産業は、自国で必要とされる食糧を安定的かつ安全に供給する役割・期待を担っています。とりわけ、開発途上国においては主要産業として重要です。JICA北海道では、北海道における農村のリソースを活用した地域振興や持続可能な開発につながる資源の有効利用に関する北海道の経験・知見を活かして、人材育成を支援しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	遠隔研修期間
<札幌>						
1	農民主体型用水管理システム (A) ※2020年度案件	課題別 (補完研修)	6	ベトナム、ガンビア、マラウイ、ウガンダ	大雪土地改良区	22.1.13-22.1.20
2	農民主体型用水管理システム (A) ※2020年度案件	国別 (補完研修) (上乗せ)	1	ガーナ	大雪土地改良区	22.1.13-22.1.20
3	農民主体型用水管理システム (A)	課題別	3	ベトナム、スリランカ	大雪土地改良区	21.5.17-21.5.26
4	農民主体型用水管理システム (A)	国別 (上乗せ)	4	東ティモール、ネパール	大雪土地改良区	21.5.17-21.5.26
5	農民主体型用水管理システム (B) ※2020年度案件	課題別 (補完研修)	9	ブルキナファソ、ブルンジ、カメルーン、マリ、セネガル	日本国際協力センター	21.11.8-21.11.11
6	農民主体型用水管理システム (B)	課題別	8	ガーナ、ケニア、マラウイ、ウガンダ、ザンビア、ジンバブエ	大雪土地改良区	21.7.26-21.8.5
7	農民主体型用水管理システム (B)	国別 (上乗せ)	1	ルワンダ	大雪土地改良区	21.7.26-21.8.5
8	農民主体型用水管理システム (C)	課題別	7	ブルキナファソ、ブルンジ、カメルーン、モーリタニア	日本国際協力センター	21.7.30-21.8.31 22.2.1-22.2.4
9	農民主体型用水管理システム (C)	国別 (上乗せ)	2	コートジボワール、マダガスカル	日本国際協力センター	21.7.30-21.8.31 22.2.1-22.2.4
10	農民参加による農業農村開発 (B) ※2020年度案件	課題別 (補完研修)	6	ハイチ、ブルキナファソ、中央アフリカ、チャド、ニジェール	北海道農業公社	21.11.30-21.12.2
11	農民参加による農業農村開発 (B) ※2020年度案件	国別 (補完研修) (上乗せ)	1	マダガスカル	北海道農業公社	21.11.30-21.12.2

12	農民参加による農業農村開発 (B)	課題別	8	ハイチ、ブルキナファソ、ガボン、ギニアビサウ、ニジェール	北海道農業公社	21.9.13-21.10.6 22.2.24-22.3.1
13	農民参加による農業農村開発 (B)	国別 (上乗せ)	1	マダガスカル	北海道農業公社	21.9.13-21.10.6 22.2.24-22.3.1
14	中央アジア地域農民組織強化 ※2020年度案件	課題別 (補完研修)	10	カザフスタン、キルギス、タジキスタン、ウズベキスタン	アジア地域連携研究所	22.2.16-22.2.21
15	中央アジア地域農民組織強化	課題別	9	キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタン	アジア地域連携研究所	21.10.18-21.10.28 22.2.16-22.2.21
16	水産資源の持続的利用とバリューチェーン開発 ※2020年度案件	課題別 (補完研修)	7	ベトナム、スリランカ、チュニジア、セーシェル	北海道大学	22.1.17-22.1.28
17	水産資源の持続的利用とバリューチェーン開発	課題別	10	タイ、バングラデシュ、パプアニューギニア、ベリーズ、ブラジル、ペルー、ケニア	北海道大学	22.2.14-22.3.4
18	アフリカ地域 小規模農家のためのアグリビジネス振興 (B)	課題別	12	ブルキナファソ、コモロ、ギニア、マダガスカル、コンゴ民主共和国、マリ	滝川国際交流協会	21.6.3-21.8.13
<帯広>						
1	持続的農業生産のための土壌診断と土壌改良技術 ※2020年度案件	課題別	5	ガボン、キルギス、ミャンマー、パレスチナ、東ティモール	一般社団法人The Earth Cafe	22.1.7-22.1.21
2	持続的農業生産のための土壌診断と土壌改良技術 ※2020年度案件	国別 (上乗せ)	1	エチオピア	一般社団法人The Earth Cafe	22.1.7-22.1.21
3	持続的農業生産のための土壌診断と土壌改良技術	課題別	6	ブルキナファソ、ルワンダ、東ティモール、ベトナム、イエメン、ザンビア	一般社団法人The Earth Cafe	21.9.22-21.11.16
4	バリューチェーン構築による地域アグリビジネス振興 (アジア地域) ~高付加価値な地場食品供給に向けて~ ※2020年度案件	課題別	3	タイ、バングラデシュ、ミャンマー	十勝インターナショナル協会	22.3.1
5	バリューチェーン構築による地域アグリビジネス振興 (アジア地域) ~高付加価値な地場食品供給に向けて~ ※2020年度案件	国別 (上乗せ)	1	タジキスタン	十勝インターナショナル協会	22.3.1
6	バリューチェーン構築による地域アグリビジネス振興 (アジア地域) ~高付加価値な地場食品供給に向けて~	課題別	3	ブータン、ベトナム、マレーシア	十勝インターナショナル協会	21.6.2-21.6.15 22.3.2
7	バリューチェーン構築による地域アグリビジネス振興 (アジア地域) ~高付加価値な地場食品供給に向けて~	国別 (上乗せ)	1	インド	十勝インターナショナル協会	21.6.2-21.6.15 22.3.2
8	バリューチェーン構築による地域アグリビジネス振興 (アジア地域) ~高付加価値な地場食品供給に向けて~	国別 (上乗せ)	3	ネパール	十勝インターナショナル協会	21.6.2-21.6.15 22.3.2
9	バリューチェーンの整備を通じた農村振興 (畜産物の付加価値向上) ※2020年度案件	課題別	9	バングラデシュ、ボツワナ、ガンビア、モンゴル、パキスタン、スリランカ、ウガンダ	国立大学法人帯広畜産大学	21.9.1-21.9.28
10	地域資源に基づいた乳肉生産のための牛の飼養管理 ※2020年度案件	課題別	3	マダガスカル、スリランカ	十勝インターナショナル協会	21.5.17-21.5.25 21.10.5-21.10.6
11	栄養改善を目的とした乳生産のための牛の飼養管理	課題別	2	エリトリア、ジョージア	十勝インターナショナル協会	21.10.20-21.11.24 22.2.24
12	栄養改善を目的とした乳生産のための牛の飼養管理	国別 (上乗せ)	2	パキスタン	十勝インターナショナル協会	21.10.20-21.11.24 22.2.24
13	戦略的マネジメント・マーケティングによる持続的地場産業振興 (A)	課題別	6	キルギス、アフガニスタン、イラク、ブータン、マレーシア	インサイトマネジメント株式会社	21.6.1-21.6.18
14	戦略的マネジメント・マーケティングによる持続的地場産業振興 (B)	課題別	5	ボスニアヘルツェゴビナ、コートジボワール、コソボ、レバノン、モザンビーク	インサイトマネジメント株式会社	21.11.2-21.11.19
15	農業地域における経営力、マーケティング強化による地場産業振興 ※2020年度案件	課題別	6	アルバニア、キルギス、ネパール、北マケドニア共和国、ベトナム	インサイトマネジメント株式会社	21.10.18-21.10.22

16	売れる地場産品の開発―一村一品の実践― ※2020年度案件	課題別	3	コソボ、パラグアイ	一般社団法人北海道総合研究調査会	21.11.17-21.12.2
17	売れる地場産品の開発―一村一品の実践― ※2020年度案件	国別 (上乗せ)	2	アルゼンチン	一般社団法人北海道総合研究調査会	21.11.17-21.12.2
18	乳肉卵を中心とした畜産物の安全性確保と品質管理向上	課題別	8	カンボジア、ケニア、モンゴル、パキスタン、タジキスタン、バヌアツ	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	2022.2.9-2022.3.15
19	乳肉卵を中心とした畜産物の安全性確保と品質管理向上 ※2020年度案件	課題別	1	アルメニア	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	2022.2.9-2022.3.15
20	農業・農村DX/スマートフードチェーン共創に向けた産官学人材育成	課題別	10	ブラジル、コスタリカ、エルサルバドル、メキシコ、パラグアイ、ペルー	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	2022.1.19-2022.2.16 ※事前学習 2021.11.24-2021.11.26
21	アジア地域 市場志向型農業振興（行政官）	課題別	7	バングラディッシュ、モンゴル、フィリピン、タジキスタン	十勝インターナショナル協会	21.7.12.-21.7.30.
22	アジア地域 市場志向型農業振興（行政官）	国別 (上乗せ)	2	インドネシア	十勝インターナショナル協会	21.7.12.-21.7.30.
23	アジア地域 市場志向型農業振興（行政官）	国別 (上乗せ)	3	スリランカ	十勝インターナショナル協会	21.7.12.-21.7.30.
24	アジア地域 市場志向型農業振興（行政官）	国別 (上乗せ)	3	ネパール	十勝インターナショナル協会	21.7.12.-21.7.30.
25	アジア地域 市場志向型農業振興（行政官）	国別 (上乗せ)	2	パキスタン	十勝インターナショナル協会	21.7.12.-21.7.30.
26	アジア地域 市場志向型農業振興（行政官）	国別 (上乗せ)	1	バングラディッシュ	十勝インターナショナル協会	21.7.12.-21.7.30.
27	アジア地域 市場志向型農業振興（行政官）	国別 (上乗せ)	1	フィリピン	十勝インターナショナル協会	21.7.12.-21.7.30.
28	アジア地域 市場志向型農業振興（行政官）	国別 (上乗せ)	5	ブータン	十勝インターナショナル協会	21.7.12.-21.7.30.
29	アジア地域 市場志向型農業振興（行政官）	国別 (有償上乗せ)	2	インド	十勝インターナショナル協会	21.7.12.-21.7.30.
30	人獣共通感染症対策（寄生虫病含む）研究者育成 プレ・メイン	課題別	14	アルゼンチン、ボツワナ、ケニア、ナイジェリア、パレスチナ、パラグアイ、スリランカ、ウガンダ	国立大学法人帯広畜産大学	21.11.8-21.12.6 22.1.17-22.2.10
31	人獣共通感染症対策（寄生虫病含む）研究者育成 メイン *2020年度案件	課題別	6	エチオピア、キルギス、モンゴル、ウガンダ、タジキスタン	国立大学法人帯広畜産大学	22.1.17-22.2.10
32	（エチオピア）人獣共通感染症対策（寄生虫病含む）研究者育成	国別	6	エチオピア	国立大学法人帯広畜産大学	21.12.13-21.12.17
33	（パラグアイ）国農牧バリューチェーン強化プロジェクト第一回国別研修（パラグアイ）	国別	10	パラグアイ	かいはつマネジメント・コンサルティング	21.9.1-21.9.10
34	（キルギス）産官学連携による民間獣医サービス強化 ※2020年度案件	国別	8	キルギス	十勝インターナショナル協会	21.10.18-21.11.5
35	農民主導による普及手法～市場志向アプローチによる生計向上を目指した農民教育～	課題別 (補完研修)	3	ザンビア、マラウイ、ネパール	十勝インターナショナル協会	21.10.4-21.10.12
36	（ネパール）南アジア向け市場志向型農業振興 *パキスタン、ブータン、タジキスタン、スリランカ、バングラと合同	国別 (補完研修)	22	バングラデシュ、ブータン、ネパール、パキスタン、スリランカ、タジキスタン	JICA直営	21.7.6

● 教育

JICAは、世界中のすべての人々が教育を受けられるという目標に向かって、開発途上国における基礎教育の普及に取り組んでいます。JICA北海道でも、北海道の教育関係者との意見交換や実際の学校現場への訪問等、北海道の教育行政や学校教育の知恵と経験を活かした研修を実施しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	遠隔研修期間
<札幌>						
1	児童の学び改善のための初等算数教授法 ※2020年度案件	課題別	10	ハイチ、ベナン、ブルキナファソ、ジブチ、ニジェール、セネガル	北海道教育大学	22. 2. 7-22. 3. 7
2	イノベティブ・アジア	国別 (短期)	8	ベトナム、カンボジア、パキスタン、マレーシア	北海道大学	22. 1. 31-22. 2. 28
<帯広>						
1	「子どもの学びを保障する」へき地教育の振興—SDGsの達成に向けて	課題別	7	ブルキナファソ、ヨルダン、ラオス、ネパール、シエラレオネ、ウズベキスタン	国立大学法人北海道教育大学	22. 2. 14-22. 3. 31
2	小学校理科教育の質的向上～「教えと学び」の現場教育～ ※2020年度案件	課題別	10	ナミビア、モルディブ、カンボジア、ケニア、ギニアビサウ、リベリア、エチオピア、モザンビーク	十勝インターナショナル協会	21. 11. 08. -21. 11. 19.

● 民間セクター開発

開発途上国の開発のためには、民間セクターの開発が不可欠です。民間セクター開発とは、開発途上国の民間企業の活力を利用して、国の経済発展をめざす支援です。JICAは「貿易・投資」「観光」「中小企業振興と産業技術の振興」「裾野産業の育成」という4分野で、開発途上国の民間企業の活性化を支援しています。JICA北海道では特に道内で輝く中小企業等の経営ノウハウを活かして、主に市場経済への移行経済下にある諸国を対象とした研修を積極的に行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	遠隔研修期間
<札幌>						
1	クラスター・アプローチによる産業振興 (A) ※2020年度案件	課題別 (補完研修)	13	モンゴル、レソト、ナイジェリア、ウズベキスタン、インドネシア、パレスチナ、チュニジア、エチオピア、ケニア、キルギス	北海道科学技術総合振興センター	21. 7. 1-21. 7. 7
2	クラスター・アプローチによる産業振興	課題別	11	インドネシア、モンゴル、メキシコ、パレスチナ、エジプト、チュニジア、エチオピア、レソト、ナイジェリア、ウズベキスタン	北海道科学技術総合振興センター	21. 11. 1-21. 12. 20
3	持続可能な観光資源管理・開発 (自然資源)	課題別	10	スリランカ、サモア、ドミニカ共和国、ジャマイカ、ボツワナ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、モンテネグロ	はまなす財団	22. 2. 2-22. 3. 2
4	観光振興とマーケティング (C) ※2020年度案件	課題別 (補完研修)	5	ベトナム	はまなす財団	22. 2. 7-22. 3. 17
<帯広>						
1	CIS諸国、モンゴル向けアグリビジネス経営管理	課題別	13	アゼルバイジャン、アルジェリア、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、モンゴル	インサイトマネジメント株式会社	22. 1. 12-22. 1. 25
2	CIS諸国、モンゴル向けアグリビジネス経営管理	国別 (上乘せ)	1	キルギス	インサイトマネジメント株式会社	22. 1. 12-22. 1. 25
1	CIS諸国、モンゴル向けアグリビジネス経営管理 ※2020年度案件	課題別	8	アゼルバイジャン、カザフスタン、キルギス、モンゴル、ウズベキスタン	インサイトマネジメント株式会社	22. 2. 1-22. 2. 4
3	(カザフスタン)中小企業振興支援	国別	11	カザフスタン	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	21. 10. 25-21. 11. 12
4	(マレーシア)動物を原料とした食品の品質管理強化を通じた地域産業開発	国別	12	マレーシア	帯広商工会議所	22. 2. 15. -22. 2. 22.

● 水資源・防災

世界では急激な人口増加や経済発展などにより、水不足や水質汚濁、水災害など、水資源にかかわる問題がますます深刻化かつ多様化しています。JICAでは、利水、治水、水環境などの総合的な観点から、途上国の水資源問題の解決に取り組んでいます。また、途上国の人々の暮らしを直撃し貧困を深刻化させる災害に対しても、災害リスクを軽減するための支援を行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	遠隔研修期間
<札幌>						

1	中南米地域 火山防災能力強化	課題別	4	グアテマラ、ニカラグア	火山防災推進機構	21.10.28-21.12.2
2	アフリカ地域 村落飲料水管理 (A)	課題別	6	ブルキナファソ、ジブチ、ギニア、ニジェール、セネガル	アースアンドヒューマンコーポレーション	22.2.7-22.3.9

● 社会保障

開発途上国では、経済発展に伴い労働災害や職業病が増加している一方で、労働安全衛生、労働基準などの法制度や実施・監督体制の整備が不十分なために、労働に起因する被害を受けても、十分な補償が得られず、貧困状態に陥るリスクを抱えた労働者が大勢います。失業の増加や若年層の雇用の問題は、社会の安定にとって大きなリスクとなる可能性があります。JICA北海道では、北海道の事例を活用し、障害者自身が地域の発展の担い手となり、地域社会に根ざしたリハビリテーション、インクルーシブな開発を実践するための基礎を理解し、実践の手法を学ぶための導入的研修を通じ、参加者が活動する地域で、関連する機関や地域のリソースと協力した取り組みを支援しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	遠隔研修期間
<帯広>						
1	スポーツを通じた障がい者の社会参加の促進 (B)	課題別	7	カザフスタン、キルギス、トルクメニスタン、ウズベキスタン	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	22.3.14-22.4.26
2	スポーツを通じた障がい者の社会参加の促進 (B) ※2020年度案件	課題別	7	アゼルバイジャン、ジョージア、カザフスタン、キルギス	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	21.6.14-21.6.30 22.3.14-22.4.26

● 長期研修

開発途上国の発展には高度な専門知識を持った人材の育成が各分野で必要とされています。特に産業を発展させる工学、地球規模の課題である環境管理等の高度人材の育成は、社会、経済、環境のバランスを取りつつ発展する持続可能な開発目標の達成には不可欠です。長期研修は開発途上国の高度人材が本邦の大学での学位取得を支援することで、対象国の人材育成を行うプログラムです。また、プログラムを通じ、日本の大学、産業界と途上国の高度人材との連携を促進します。

※研修員の来日時期が個別で異なる長期研修については、受入期間の記載を省略。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	受入期間
<札幌>						
1	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト	長期 (SEED-Net)	2	カンボジア、ベトナム	北海道大学	
2	資源分野の人材育成プログラム (資源の絆)	長期	13	マラウイ、カンボジア、ザンビア、フィジー、インドネシア、ジンバブエ、ボツワナ、カザフスタン	北海道大学	
3	太平洋島嶼国リーダー教育支援プログラム (Pacific-LEADS)	長期	1	ミクロネシア	北海道大学	17.8.16-21.7.15
4	アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ (ABEイニシアティブ)	長期	7	ケニア、ナイジェリア、ザンビア、ガーナ	北海道大学	
5	イノベティブ・アジア	長期	5	スリランカ、インド、フィリピン、マレーシア、タイ	北海道大学	
6	健康危機対応能力強化に向けた感染症対策グローバルリーダー育成	長期	10	ザンビア、コンゴ民主共和国、ガーナ、ナイジェリア	北海道大学	
7	インド工科大学ハイデラバード校日印産学研究ネットワーク構築支援プロジェクト (FRIENDSHIP)	長期	6	インド	北海道大学	
8	SDGsグローバルリーダー・コース	長期	5	フィジー、ガンビア、ジョージア、ベナン、ザンビア	北海道大学	
9	食料安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net)	長期	3	カンボジア、ナイジェリア	北海道大学	
10	道路アセットマネジメント技術の中核人材育成	長期	1	ザンビア	北海道大学	21.4.1-24.9.30

11	超小型衛星による雷雲観測とそのデータの三次元解析	長期 (SATREPS)	1	フィリピン	北海道大学	19. 4. 8-22. 3. 26
12	マリカルチャビグデータの生成	長期 (SATREPS)	1	インドネシア	はこだて未来大学	19. 5. 27-22. 3. 22
No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	受入期間
<帯広>						
1	ABE2018・第5バッチ・帯広畜産大学	長期	2	コモロ、マダガスカル	JICE	
2	ABE2019・第6バッチ・帯広畜産大学畜産学研究所・修士	長期	1	マダガスカル	帯広畜産大学	19. 9. 23-22. 3. 18
3	(連携方式) ABE2020・第7バッチ・帯広畜産大学畜産学研究所・修士	長期	3	ガーナ、ケニア、モザンビーク	帯広畜産大学	
4	(連携方式) SDGsグローバルリーダー・コース2020 (アフリカ)・帯広畜産大学畜産学研究所・博士	長期	2	ジンバブエ、マラウイ	帯広畜産大学	
5	(連携方式) 食糧安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net) 2020・帯広畜産大学畜産学研究所・博士	長期	2	パラグアイ、ラオス	帯広畜産大学	
6	(連携方式) 食糧安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net) 2020・帯広畜産大学畜産学研究所・修士 (2021春)	長期	2	インドネシア、ウズベキスタン	帯広畜産大学	
7	(連携方式) ミャンマー農業セクター中核人材育成 (フェーズ2) 2020・帯広畜産大学畜産学研究所・修士	長期	1	ミャンマー	帯広畜産大学	21. 10. 23-24. 3. 31
8	(連携方式) SDGsグローバルリーダー・コース2020 (大洋州)・帯広畜産大学畜産学研究所・修士	長期	1	トンガ	帯広畜産大学	21. 8. 26-24. 3. 31
9	(連携方式) ABEイニシアティブ (2021~2023年度)・2021年度・第8バッチ・帯広畜産大学畜産学研究所 (修士課程)	長期	1	モザンビーク	帯広畜産大学	21. 11. 27-24. 9. 30
10	(連携方式) 食料安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net) (2021~2023年度)・2021年度・帯広畜産大学畜産学研究所 (修士課程)	長期	1	パラグアイ	帯広畜産大学	22. 2. 25-23. 9. 30
11	(連携方式) ミャンマー農業セクター中核人材育成 (フェーズ2) 2021・帯広畜産大学畜産学研究所・修士	長期	1	ミャンマー	帯広畜産大学	21. 11. 12-24. 3. 31
12	(連携方式) 食料安全保障のための農学ネットワーク (Agri-Net) (2021~2023年度)・2021年度・帯広畜産大学 (博士課程)	長期	1	ミャンマー	帯広畜産大学	21. 11. 26-24. 9. 30
13	人材育成奨学計画・帯広畜産大学畜産学研究所・修士	長期	1	ミャンマー	JICE	22. 3. 19-24. 3. 31

移住者・日系人支援（日系研修事業）

現在、北米・中南米を中心に全世界で290万人を超える移住者・日系人が生活しています。彼らは政治、経済、教育、文化など、多分野で活躍し、移住先国の発展に寄与するとともに、日本との「懸け橋」となって二国間の関係緊密化に重要な役割を果たしています。JICAは、中南米などへ渡航した移住者に対し、移住先国の社会での定着と生活の安定を図るための支援を実施してきましたが、時の流れとともに、日系社会の成熟や世代交代といった変化が生じてきました。現在は、移住者・日系人が抱える新たな課題に対応するため、JICAでは移住者子弟の人材育成などの支援を行っています。JICA北海道でも、大学や専門学校、民間企業などでの研修を行いました。

※長期研修を除く研修実績は全て遠隔研修実施分のみ記載

No	コース名	人数	参加国	研修実施機関	遠隔研修期間
<札幌>					
1	個別短期：継承日本語教育（教師養成Ⅰ）	3	ブラジル	さくらネットワーク・システム協同組合	21.6.1-21.7.30
2	個別長期：ドローン・GIS・GPS・リモートセンシング技術による農地・森林評価及び野生動物生息地の管理手法	3	ブラジル	学校法人酪農学園大学	21.7.30-22.3.17
3	個別長期：ドローン・リモートセンシング技術による農地、森林、環境資源管理とモニタリング	4	ブラジル、ペルー	学校法人酪農学園大学	21.7.30-21.11.5
4	個別短期：食品科学と栄養管理	2	ブラジル	学校法人酪農学園大学	21.12.11-22.1.10
5	個別長期：食品科学と栄養管理	1	ドミニカ共和国	学校法人酪農学園大学	21.12.1-22.1.31

青年研修事業

開発途上国の青年が、それぞれの国で必要とされている分野の基礎的な研修を通じ、将来の国づくりを担う人材となってくれることを目的とする事業で、地方自治体、地域のNGO、その他国際協力関連団体との連携で実施されています。地域の市民が、国際協力に参加、相互理解を深める重要な機会にもなっています。

No	国/地域	分野	人数	実施団体	団体による遠隔研修期間
<札幌>					
1	バングラデシュ	情報通信技術政策コース	7	はまなす財団	22.1.17-22.2.7
2	フィリピン	農村振興コース	7	北海道科学技術総合振興センター	22.1.18-22.1.17
3	中南米（英語圏）	自然環境保全コース	7	キープ協会	22.1.26-22.2.25
<帯広>					
1	ラオス	農村振興コース	8	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	21.08.03.-21.08.04. 21.11.15.-21.11.26.
2	中央アジア・コーカサス	アグリビジネス/アグリツーリズムコース	17	十勝インターナショナル協会	21.11.11-21.11.29
3	マレーシア	地域における観光振興コース ※2020年度	5	十勝インターナショナル協会	22.2.7-22.2.22
4	中央アジア・コーカサス	地域における中小企業振興コース	18	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	21.7.12-21.8.11

草の根技術協力事業

草の根技術協力事業は、日本のNGO、大学、地方自治体等がこれまで培ってきた経験や技術を活かして企画した、開発途上国の人々の生活改善・生計向上に直接役立つ分野の草の根レベルの協力活動をJICAが支援し、共同で実施する事業です。

● パートナー型

No	案件名	対象国	協力対象機関	提案団体	研修員受入実績	専門家派遣実績
					人数	人数
<札幌>						
1	玉ねぎの品種改良による新ブランドの確立とフードバリューチェーンの構築	モンゴル	トゥブ県ジャルガラント村	一般社団法人 滝川国際交流協会	0	3
<帯広>						
1	ウガンダ国マダニ媒介感染症制御による畜産農家支援プログラム	ウガンダ	マケレレ大学獣医学部	国立大学法人 北海道国立大学機構 帯広畜産大学	0	1
2	パラグアイ酪農の持続可能な発展をめざすネットワークを活用した酪農家支援体制構築プロジェクト	パラグアイ	パラグアイ生産者組合連盟 (FEGOPROD)	国立大学法人 北海道国立大学機構 帯広畜産大学	0	0
3	キルギス国キルギス国立農業大学における土壌・作物分析技術人材育成プロジェクト（草の根パートナー型）	キルギス	キルギス国立農業大学 (KNAU)	バイオマスリサーチ株式会社	0	0

● 地域提案型（地域（経済）活性化特別枠を含む）

No	案件名	対象国	協力対象機関	提案団体	研修員受入実績	専門家派遣実績
					人数	人数
<札幌>						
1	ポカラ市給配水管理業務の体系化を目指した技術協力事業	ネパール	ネパール水道公社、Love Green Nepal	札幌市水道局	0	0
<帯広>						
1	Kedah Food Valley 推進による地域活性化プロジェクト（地域活性化特別枠）	マレーシア	Kedah州政府、ケダ開発公社 (PKNK)	帯広商工会議所	0	0
2	キルギス国地域におけるフードバリューチェーンを活用した実践的な農業教育プロジェクト（地域活性化特別枠）	キルギス	キルギス国立農業大学付属農業技術カレッジ	株式会社 CheerS	0	0

● 支援型

No	案件名	対象国	協力対象機関	提案団体	研修員受入実績	専門家派遣実績
					人数	人数
<札幌>						
1	口腔衛生指導専門医による地域住民の健康増進事業	バングラデシュ	BKS (ボヨシコラヤン ショミッティ)	特定非営利活動法人 ジョロナ	0	1
2	あんまマッサージ指圧訓練コースの設立・運営による視覚障害者の雇用促進事業	スリランカ	シードゥワ職業訓練校、トウサーレトーキングハンズ	特定非営利活動法人 アブカス	0	0
3	持続可能な生態系サービス向上に向けたESD活動基盤づくり	マレーシア	コベル (エコツーリズム協同組合)	特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所	0	0
4	サモアにおけるラン科植物の栽培技術普及と新産業開発提案事業	サモア	ステック (サモア国営信託農場法人)	一般社団法人 The Earth Cafe	0	0
<帯広>						
1	モンゴルにおける牧草飼料生産にかかる農作業請負組織化促進事業	モンゴル	モンゴル科学技術大学	十勝農業機械評議会	0	0
2	ジョージア国ディスヴェリ村女性酪農協同組合における酪農技術向上プロジェクト	ジョージア	ジョージア酪農協会、ディスヴェリ村女性酪農協同組合	一般社団法人 とちかち地域活性化支援機構	0	0

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、専門家は限定的な派遣となった。

開発教育支援事業

開発途上国の現状を知り、「環境」「食糧」「資源」など私たちの日常生活に身近なものごとを通じて途上国と日本とのつながりに気づき、途上国の抱える諸問題や地球規模の課題について考える機会を学生や生徒に提供する活動を支援するために、JICA北海道はJICA事業関係者の協力を得てさまざまな取り組みを行っています。

● 出前講座/センター訪問

JICA職員や青年海外協力隊OB/OG等が小中学校、高校、大学、その他の団体等を訪問し、国際協力の現場で学んだこと、開発途上国での生活を通じて学んだこと等を紹介しました。また、多くの学校・団体等にJICA北海道を訪問いただき（センター訪問）、国際理解教育のためのワークショップ等を行いました。

区分	事業	参加人数	学校及び団体名 *順不同
<札幌>			
小学校	出前講座	10校 773名	江別第二小学校、石狩市立緑苑台小学校、旭川市立西御料地小学校、南富良野小学校、江別市立大麻泉小学校、旭川市立近文第一小学校、当別町立西当別小学校、当別町立当別小学校、千歳市立北陽小学校、三里塚小学校
	センター訪問	2校 165名	札幌市立米里小学校、江別市立野幌若葉小学校
中学校	出前講座	22校 2794名	北広島市立西部中学校、浦幌町立浦幌中学校、浦幌町立上浦幌中学校、旭川市立江丹別中学校、札幌日大中学校、登別中学校、石狩市立花川中学校、旭川市立広陵中学校、江別市立大麻中学校、札幌市立中央中学校、札幌市立山鼻中学校、登別市立緑陽中学校、札幌市立伏見中学校、札幌市立篠路中学校、札幌市立新琴似中学校、石狩市立花川北中学校、北広島市立西部中学校、千歳市立青葉中学校、札幌市立藻岩中学校、札幌市立北陽中学校、旭川市立広陵中学校、旭川市立忠和中学校
	センター訪問	15校 703名	札幌静修高等学校、当別町立西当別中学校、北星学園女子中学校、札幌日大中学校、石狩市立花川中学校、北海道教育大附属中学校、共和町立共和中学校、仁木町立銀山中学校、星槎もみじ中学校、当別町立当別中学校、篠路中学校特別支援、千歳市立北斗中学校、手稲西中学校、礼文町立船泊中学校、札幌市立日章中学校
高校	出前講座	17校 2550名	静修高等学校、市立札幌大通高等学校、クラーク記念国際高等学校、北海道えりも高等学校、札幌日大高等学校、青森山田高等学校通信制 札幌校、苫小牧東高校、小樽双葉高校、北海道札幌丘珠高等学校、千歳高等学校、北海道札幌国際情報高等学校、旭川永嶺高等学校、北海道栗山高等学校、トライ式高等学院札幌キャンパス、静内農業高校、札幌西陵高等学校、北海道札幌北高等学校
	センター訪問	9校 345名	小樽双葉高等学校、クラーク記念国際高等学校、市立札幌清田高等学校、星槎国際高等学校、藤女子高等学校、北海道千歳高等学校、札幌丘珠高等学校、藤女子高等学校、札幌新陽高等学校
大学	出前講座	5校 159名	北海道教育大学旭川校、教育大学函館校、東京学芸大学大学院、札幌大学、旭川高等看護学院
	センター訪問	8校 116名	札幌国際大学短期大学、酪農学園大学、北海道大学大学院、北海道医療大学、札幌大学、北海道教育大学函館校、北海道科学大学、東海大学
特殊学校	出前講座	3校 51名	北海道向陽学院、北海道真駒内養護学校、北海道拓北養護学校
	センター訪問	3件 37名	札幌市立平岡中学校、北海道拓北養護学校、デイサービスサニー
その他団体	出前講座	18件 840名	江別第二小学校(教員向け)、秀英KIDS、第一生命保険株式会社、秩父別町教育委員会、渡島教育局、国際女性協会、coミドリ、石教研国際理解教育研究部会、防衛省陸上総隊司令部運用部国際協力課、旭川市中央図書館、美唄市役所経済観光課、旭川市国際交流委員会、北海道立消費生活センター、札幌地区測量設計協会、旭川市国際交流委員会、シニア大学・大学院、北海道労働者協同組合、北海道建築士会
	センター訪問	70件 194名	東武トップツアーズ、北海道立教育研究所、月寒高等学校教員、J:COM、教師国内研修参加者、札幌西高等学校、教育支援センター白石、プラス保育園、退職女性管理職の会「松の美会」、教育大付属札幌中学校 探究学習、札幌市教育委員会、札幌南高等学校探究学習、秀英KIDS札幌、札幌白石区少年消防クラブ協議会、JICA職員向け4件、JICAインターン2件、ミニツアー25件、職場体験(酪農学園大学、東海大学、札幌大学、北海道科学大学)25件
<帯広>			
小学校	出前講座	3校 156名	陸別町立陸別小学校、北見市立上常呂小学校、北見市立中央小学校
	センター訪問	2校 145名	東川小学校、帯広市立啓西小学校

中学校	出前講座	9校 543名	帯広市立第七中学校、紋別市立渚滑中学校、新得中学校、帯広市立八千代中学校、広尾中学校、釧路市立春採中学校、中札内中学校、幕別中学校、上士幌中学校
	センター訪問	15校 1480名	帯広市立第四中学校、帯広市立第一中学校、帯広市立川西中学校、帯広市立八千代中学校、帯広市立翔陽中学校、帯広市立西陵中学校、帯広市立清川中学校、帯広市立第二中学校、帯広市立緑園中学校、帯広市立第七中学校、帯広市立大空中学校、帯広市立第八中学校、帯広市立第五中学校、帯広市立南町中学校、えりも中学校
高校	出前講座	9校 651名	北海道帯広農業高等学校、北海道池田高等学校、北海道遠軽高等学校、北海道広尾高等学校、北海道大樹高等学校、北海道標津高等学校、北海道美幌高等学校 高等学校文化連盟、北海道中標津農業高等学校
大学/短期大学	出前講座	2校 281名	北海道教育大学釧路校、釧路公立大学
特殊学校	出前講座		
その他団体	出前講座	9件 171名	帯広市教育委員会 生涯学習部、るべし夢華大学、根室寿大学、大樹町議会議員会・広尾町議会議員会、中札内中学校（教諭）、くしろ若者サポートステーション、更別村
	センター訪問	3件 34名	とから絆の森、日本たばこ産業株式会社、鹿追町産業研修生

● JICA研修員学校訪問

各校で取り組みが盛んになってきている国際理解教育を支援する事業の一環として、JICA北海道では、道内に在住する外国人が学校訪問を行い、地域の児童・生徒と交流するプログラムを行いました。交流を通して、外国や異文化に関する児童・生徒の興味・関心を引き出し、国際理解から国際協力への基礎を築き、道内に在住する外国人が、日本人とのコミュニケーションを図り、日本についての理解を深める機会ともしています。

No	訪問校	参加人数	協力団体名
<札幌>			
1	札幌清田高等学校	39名	長期研修員
2	江別市立江別第二小学校	89名	在北海道ベトナム人会
3	北星学園女子中学高等学校	127名	イスラミック・ソサイエティ
4	札幌北斗高等学校	36名	在北海道ベトナム人会
5	恵庭市立和光小学校	23名	在北海道ベトナム人会

● 開発教育/国際理解教育指導者研修

教育現場での開発教育/国際理解教育の担い手である教員の方々を対象に、開発をめぐる様々な問題を理解し、学校現場での具体的な展開方法を考えていただくことを目的とした「開発教育/国際理解教育指導者研修」をオンラインで実施しました。また、JICA海外協力隊OB/OG等を対象にした国際協力出前講座のスキルアップセミナーを開催しました。

項目	参加人数	実施日
国際理解教育オンラインセミナー【入門編】	26名	2021/9/11
国際理解教育オンラインセミナー【初級編①】	19名	2021/10/2
国際理解教育オンラインセミナー【初級編②】	21名	2021/12/4
国際理解教育オンラインセミナー【教師国内研修報告会】	18名	2022/2/5
国際協力出前講座スキルアップセミナー①	16名	2021/6/18
国際協力出前講座スキルアップセミナー②	25名	2021/12/10
国際協力出前講座スキルアップセミナー③	13名	2022/1/22

● 教育庁・教育委員会との連携事業

JICA北海道と北海道教育庁及び札幌市教育委員会等との連携による教職員対象の『国際理解教育研修』を実施しました。

項目	参加人数	実施日
<札幌>		
北海道立教育研究所	42名	2021/6/14-18(オンデマンド)
札幌市教育委員会国際理解教育講座	32名	2022/1/11
<帯広>		
北海道地学協働活動推進実証事業（GLASSプロジェクト）第1回北海道帯広三条高校探求コンソーシアム会議	15名	2021/9/7
北海道地学協働活動推進実証事業（GLASSプロジェクト）第2回北海道帯広三条高校探求コンソーシアム会議	15名	2022/2/22

● 小・中・高 国際協力体験プログラム

外国の生活や文化を知ることや国際理解を深めることや、国際協力の現場について知り、世界の現状や何ができるのか考えてもらうためのプログラムです。外国の方との交流、青年海外協力隊の体験談、参加型ワークショップなど、小・中・高校生向けに各プログラムを用意しています。

項目	参加人数	実施日
<札幌>		
2021年度 小学生国際協力体験プログラム(対面)	23名	2021/8/15
2021年度 中学生国際協力体験プログラム(オンライン)	17名	2021/8/29
<帯広>		
2021年度高校生国際協力体験プログラム(オンライン)	15名	2022/1/7

● 教師海外研修(代替国内研修)

2020、21年度の教師海外研修は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により中止しております。2021年度については、教師海外研修の代替事業として、北海道内での様々な課題(多文化共生・地方創生・森林保全やふるさと教育等)に取り組む自治体へのフィールドワーク・インタビューを通して、参加者それぞれが『自分たちにとって身近なSDGs』を題材として教材づくりを行い、実践する教師国内研修を実施しました。小学校教諭1名、中学校教諭1名、高校教諭4名の計6名の方が参加しました。

※2021年度は新型コロナ感染症の影響により、教師海外研修の代替研修となる教師国内研修を実施。

● JICA北海道におけるインターン(職場体験学習)受入実績

人数	大学/大学院(学部/研究室)	実施期間	人数	中学校/高校	実施期間
<札幌>			<札幌>		
1名	北海道大学	2021/8/23~31	1名	北海道札幌南高等学校	2022/1/12
1名	東海大学	2021/8/23~31			
1名	北海学園大学	2021/8/23~31			
1名	札幌大学	2021/11/24			
3名	酪農学園大学	2021/10~2022/3			
1名	東海大学	2021/12~2022/3			
4名	北海道科学大学	2022/1/4			
1名	名古屋大学大学院	2022/2/1~3/14			

● エッセイコンテスト

中学生と高校生が国際協力について考えるきっかけづくりとして、開発途上国や国際協力をテーマにしたエッセイを募集し、全国規模でコンテストを実施しました。2021年度は北海道から次の方々・学校が入賞しました。

	賞	タイトル	学校名
中学校の部	個人賞	優秀賞	小さなアクション 函館ラ・サール学園
		国内機関長賞	おばあちゃんの野菜 石狩市立樽川中学校
		国内機関長賞	積水成淵 更別村立更別中央中学校
		青年海外協力隊OB会会長賞	見ないフリ 石狩市立樽川中学校
	特別学校賞	石狩市立樽川中学校、更別村立更別中央中学校	
学校賞	北海道教育大学附属函館中学校、遺愛女子中学校		
高等学校の部	個人賞	国際協力特別賞	小さな一歩を踏み出そう~今私たちにできること~ 札幌聖心女子学院高等学校
		国内機関長賞	買って、食べて、使って、笑顔に! フェアトレード~その買物が世界を変える~ 市立札幌開成中等教育学校
		国内機関長賞	私達は毎日お茶碗一杯分のご飯を捨てている 北海道大樹高等学校
		佳作	日本に生まれた私達 北海道千歳高等学校
		佳作	私の考える「新しい未来」 市立札幌清田高等学校
	特別学校賞	北海道千歳高等学校、学校法人札幌北斗学園 札幌北斗高等学校、市立札幌清田高等学校	
学校賞	市立札幌開成中等教育学校、私立札幌聖心女子学院高等学、望洋大谷学園 北海道大谷室蘭高等学校、北海道大樹高等学校		

セミナー・イベント等

道民の方々に開発途上国の問題や日本との関係等について理解を深めてもらえるよう、各種セミナー、イベント等を実施しました。また、地方自治体や大学、道内NGOの方々の国際協力に対するお手伝いを様々な形で実施しました。

- 市民向けイベント
開発途上国について道民の方々に関心を持っていただくことを目的としたイベントを開催しました。

イベント名	講演者	実施日	参加人数	主催 共催
<札幌>				
オンラインセミナー「見つけ直そう私たちの足元 ～外国人材が支える私たちの食卓～」	ホアン ティ ザタオ氏、グエン ティ タオ氏（生活協同組合コープさっぽろ石狩工場総菜加工部門勤務） チャン ヴァン フィン氏、チャン ヴァン ドック氏（有限会社余湖農園勤務） 他2名	6月24日	173名	主催
SDGsオンライントークイベント「考えてみよう！SDGsゴール10 ～目に見えない人や国の不平等～」	アッバス・ヤスダニ氏（イラン出身、難民認定申請中） ビスカルド篤子氏（カトリック大阪大司教区 社会活動センター シナビス）	6月27日	41名	主催
北海道国際協力フェスタ2021内ワークショップ・イベント 「はじめての年賀状～あなたの想いをのせた一枚でつながる」		12月5日	36名	共催
「やさしい日本語落語と一緒に笑おう」	式部紬子氏（北海道高等教育推進機構教育研究部研究員）	1月16日	36名	主催
「教室から多文化共生社会を考えよう」	及川まや氏（旭川市教育委員会学校教育部学務課） 塚田初美氏（旭川市立緑が丘小学校）	3月5日	28名	主催
JICA海外協力隊オンライントークライブ 「道北から世界へ！スポーツのチカラで国際協力」	斉藤 徹氏（モンゴルOV） 中村 俊文氏（インドネシアOV）	6月12日	28名	主催
JICA海外協力隊募集 オンライントークイベント 「道産子ボランティアが見てきた開発途上国 in 道南」	西川 正一氏（バヌアツ、タイOV） 伊藤正枝氏（ソロモンOV）	6月20日	28名	主催
北海道コンサドレ札幌公式戦 ブース出展		8月28日	約200名	主催
SDGsマルシェ vol.3 協力隊ブース出展/トークイベント 「道産子ボランティアが見てきた開発途上国@函館～教育と海の豊かさ～」	西川 正一氏（バヌアツ、タイOV） 尾石 明菜氏（カンボジアOV）	9月19日	31名	主催
JICA海外協力隊オンラインイベント 「ボランティアが見てきた開発途上国 アフリカと日本を繋ぐヒト！～エチオピア・ルワンダ編～」	鯨島 弘子氏（ガーナ、エチオピアOV） 鹿毛 謙作氏（ルワンダOV）	11月3日	50名	主催
JICA海外協力隊オンライントークイベント JICA海外協力隊トーク「聞いてみよう！日本語教師のシゴト、帰国後のキャリア」	沢井 孝介氏（ウズベキスタンOV） 清水 孝氏（中国OV） 中村 佳子氏（インドネシアOV）	11月13日	41名	主催
JICA海外協力隊オンライントークイベント あきらめない ～スポーツの可能性を信じて～		12月5日	23名	共催
JICA海外協力隊秋募集説明会代替イベント オンライン座談会 ボランティアが見てきた開発途上国 「ところ変わればこんなに違う！アジア・中南米・アフリカ隊員経験者に聞くJICA海外協力隊！」	尾石 明菜氏（カンボジアOV） 小越 剛氏（グアテマラOV） 鈴木 未央氏（ザンビアOV）	12月18日	12名	主催
ミャンマーをもっと身近に ～ミャンマー映画「僕の帰る場所」上映会～	藤元明緒氏（映画監督） 林テンテンナイ氏（北海道在住ミャンマー出身者）	2月18日	26名 (トークイベント23名)	主催
「ミャンマーをもっと身近に」ミャンマー写真展		2月19日～3月31日	704名	主催
JICA海外協力隊特別登録者・帰国隊員向けイベント 「北海道JICA海外協力隊オンライン懇親会」	田中 玖実氏（2019年度1次隊/モンゴル/特別登録者） 橋野 友香理氏（2021年度7次隊/タイ/現在派遣中）	3月12日	31名	主催
<帯広>				
世界のともだち2021	五十嵐 龍夫（パラグアイOV） 古茂田 紫乃氏（ザンビアOV） 平林 明日香氏（ベナンOV）	7月11日	230名	共催
インターナショナル・トーク オンライン編×モンゴル人技能実習生		7月30日	16名	主催
JICA北海道（帯広）主催オンラインイベント「みんなでお菓子作り～JICA海外協力隊経験者が任国の料理を紹介～」		9月25日	3名	主催
JICA北海道（帯広）25周年記念イベント第2弾JICA研修員1日体験プログラム	新庄 久志氏（釧路国際ウェットランドセンター技術委員長）	10月16日	16名	主催
JICA北海道（帯広）主催オンラインイベント「パラオにGO!!～エコツアーで知る南国の秘境とイルカ達」	Dolphins Pacific（ドルフィンズ・パシフィック）	10月24日	16名	主催

「存在のない子供たち」上映会	12月12日
<帯広>	
多言語で開く世界の扉	8月26日、8月28日
Fureru Talk in the world	7月30日

● 協カイベント

イベント名	実施日
<札幌>	
2022年冬休み小学生講座（国際協力出前講座）	中止

● 大学・NGO、地方自治体等の海外研修支援

団体名	訪問・活動国	実施期間
<札幌>		
北海道教育大学	JICA北海道（札幌）・ラオス	2022年3月29日～31日

● 国際協力パネル展・民族衣装・パネル貸し出し

イベント名	場所	実施日
<札幌>		
SDGs/パネル21枚	帯広青年会議所	4月30日～5月14日
JICA海外協力隊パネル展～道産子ボランティアが見た開発途上国～	北海道庁	5月16日～17日
「JICA海外協力隊展示2021@函館」	函館市地域交流まちづくりセンター	5月18日～6月22日
JICA海外協力隊パネル展 ～旭川から世界へ！スポーツのチカラで国際協力～	フィール旭川	7月27日～8月1日
SDGs/パネル4枚	札幌市立平岡中学校	9月2日～9月29日
JICA海外協力隊パネル展 マラウイとブラジルの歩き方 (新型コロナウイルス感染症の影響でパネル展で開催)	北海道旭川西高等学校	10月4日～10月8日
民族衣装7着	江別市立江別第二小学校	10月15日～10月20日
JICA海外協力隊パネル展 ～パプアニューギニアってどんな国？ その魅力と日本との繋がり～	旭川市中央図書館	10月30日～11月27日
民族衣装10着	豊浦町立豊浦小学校	11月4日～11月10日
SDGs/パネル4枚	星槎もみじ中学校	11月9日～11月15日
民族衣装10着	札幌市立白石小学校	11月11日～11月25日
SDGs/パネル24枚	札幌市スポーツ協会	12月1日～1月10日
SDGs/パネル21枚	高槻市人権まちづくり協会	12月10日～12月11日
民族衣装10着	児童発達支援デイサービス輝	2022年1月15日
民族衣装4着	豊浦町立豊浦小学校	2月16日～2月24日
民族衣装10着	北海道手稲養護学校	2月14日～2月25日
民族衣装10着	こどもカンパニー大通園	2022年3月17日

<帯広>

「世界を愛するお仕事」展	JICA北海道（帯広）口	3月4日～7月2日
世界の動物写真展	更別村老人保健福祉センター	3月29日～4月4日
「WORLD SPORTS ～スポーツを通じた国際協力～」展	JICA北海道（帯広）口	7月4日～8月31日
協力隊パネル展～道産子ボランティアが見てきた途上国 in 北見～	まちきた大通ビル（パラポ）、北見工業大学	6月1日～6月30日
世界の子どもアート展	更別村老人保健福祉センター	7月20日～8月20日
JICA北海道（帯広）25周年記念イベント第1弾「釧路×湿地×国際協力」展	釧路市中央図書館	9月14日～9月21日
「世界のファッションとデザイン」展	JICA北海道（帯広）	10月1日～11月1日
世界の路上から 小笹純弥写真展	JICA北海道（帯広）	11月6日～12月10日
協力隊パネル展～道産子ボランティアが見てきた途上国 in 帯広～	帯広市図書館	11月25日～12月9日
世界の子どもたちのアート展	十勝総合振興局	12月9日～12月17日
世界の子どもアート展	更別村老人保健福祉センター	2021年12月20日～2022年1月5日
JICA海外協力隊パネル展	MEGAドン・キホーテ西帯広店	2022年2月12日～3月3日
釧路×湿地×国際協力展 in イオンモール釧路昭和	イオンモール釧路昭和	2022年2月15日～5月
Fureru photo～アフリカで暮らしていた3人のJICA海外協力隊がつくる”小さなアフリカ写真展”～	中一（帯広市内ギャラリー）	2022年3月13日～20日
世界の民族衣装展	更別村老人保健福祉センター	2022年3月28日～4月7日

ボランティア事業

● 派遣実績

○ 2021年度 新規派遣 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、新規の派遣は限定的となった。

形態	派遣国数	人数
青年海外協力隊（海外協力隊含む）	6	8
シニア海外協力隊	2	2
日系社会青年海外協力隊 （日系社会海外協力隊含む）	0	0
日系社会シニア海外協力隊	0	0
合計	8	10

※表敬訪問先が北海道の協力隊隊員
（他都府県出身者含む）

● 帰国報告会・ボランティアセミナー

○ 帰国報告会

場所	春募集		秋募集	
	JICA海外協力隊		青年海外協力隊	
	回数	人数	回数	人数
	0	0	0	0
小計	0	0	0	0

※新型コロナウイルス感染症の影響により、募集説明会
キャラバン(秋募集)は中止。

○ ボランティアセミナー ※（ ）内は同開催場所での実施回数

時期	回数	人数	開催会場
春募集	3	1745	酪農学園大学（オンライン3回実施）、八紘学園、拓殖大学北海道短期大学
秋募集	2	38	札幌国際大学、名寄市立大学

● 応募状況（北海道全域） ※新型コロナウイルス感染症の影響により、秋募集は実施無し。

	春募集		秋募集	
	一般案件	シニア案件	一般案件	シニア案件
応募者数	55	1	0	0
合格者数	9	1	0	0